

焼畑野菜収穫祭と  
小径木配布会・  
木工教室開催される

8月29日に火入れをし、8月30日に播種した野菜は、順調に育ち収穫期を迎えた。(関連記事 いの町広報10月号)

10月29日(土)午後1時に本川小学校校庭に集合した「いの町グリーンツーリズム研究会体験部会」の会員と焼畑に協力いただいた本川の焼畑経験者たちは、

期待と不安を持ち焼畑の現場へ向かった。到着するや、一同「すごいね。」「ようできちゅう。」と感嘆の声があがり、焼畑復活に確かな手ごたえを感じているようであった。

作業工程の関係で播種予定時期が遅れ、播種直後は、24時間雨量が600mmを超える台風14号の襲来に見舞われ、作業にかかわった者にとって不安の連続であった。

しかしながら、順調に生育していた小松菜、

大根、あかかぶ、カラシナなどを見て改めて、焼畑の力を実感した様子であった。播種の遅れによる生育が心配されていたそばも1週間後に収穫でできるくらいまで成長を見せた。

収穫された野菜は、早速交流会場に持ち込まれ20人あまりの男性たちが、さながら料理教室のごとく焼畑汁(焼畑野菜を入れた汁)作りと地元の方から差し入れのあった猪の汁、収穫した野菜で一夜漬けづくりに和気あいあいと励んだ。

交流会の中では、本川の女性グループの手作り料理と参加者が作った汁などを食べながら、地元参加者からは、「今回の焼畑の取り組みは栽培された野菜の生育状況を見ると成功であった。」との評価を

いただいた。今後は、約30アールの緩やかな傾斜の畑の条件を生かし「本川ジャガイモの生産拠点にしてみようか。」「夏場の高冷野菜(大根)を試作しては。」「あらたな猿よけ施設をモデル的に設置しては。」「周囲にこしあぶらを植栽しては。」などの多数の意見が出され、合併後初めて旧3ヶ町村会員が行ってき

た本川地区での取り組みが少しづつ地域に変化をもたらしてきている。

翌日には、本川小学校校庭で小径木配布会と本川地区における森林ボランティアとして地域貢献をされている「土佐の森救援隊」の山崎正彦氏を講師に迎え間伐材を利用した木工教室が開催された。

町内の小学生たちが保護者

に手伝ってもらいながら楽しくオリジナルな机作りなどに励んでいた。当日は、展示されていた移動式製材機の見学者や木材を求めて来られる方などで終日賑わいを見せた。

参加したボランティアからは、「現在切捨て間伐している材をもっと利用できるような地域でのシステムを作れば利用が進むのに。」という意見が



収穫を喜ぶ

出され、「本川地区で新たな間伐材利用システム構築を行政・ボランティア・住民との協働で進めていこう。」という頼もしい意見も出され、この2日間の催しは、成功裏に開催された。

「いの町グリーンツーリズムホームページ」アイデアの募集

来年度から「いの町グリーンツーリズムホームページ(以下、HP)」を開設することとなりました。これに先立ち「いの町グリーンツーリズムHPプロジェクトチーム」を結成していますが、このHPにより多くの声を反映するため、いろんな意見やアイデアを募集しています。

フレッシュ人材の募集と新メンバーの紹介

いの町グリーンツーリズム研究会では、農村民泊をはじめ、焼き畑の再興、棚田保全、自然体験プログラムなど、様々な活動を続けていますが、今後、より一層の充実した活動を展開していくにあたり、まだまだメンバーが不足しています。そういった中、この度、新しいメンバーが増えました。大学校で応用植物科学を学び、

今春、いの町に帰ってこられた黒田恵さんです。「日本型グリーンツーリズムと高知県における取組み」をテーマに、多角的にグリーンツーリズムを研究されており、我が研究会でも稀有な戦力として活躍が期待されています。



木工教室

ご意見・問い合わせ・連絡先

いの町グリーンツーリズム研究会  
事務局 吾北総合支所地域振興課  
所在地 いの町上八川甲1934 ☎867-2314 ☎867-2337  
E-mail: mu-takahashi@town.ino.lg.jp

※みなさんも参加してみませんか!

いの町の宝物を磨きながら、いの町をもっともっと元気にしていきませんか! 活動に参加は、意見交換の集いのみの参加など、どのような参加手法でも結構です。